



613-000275 Rev.B 060825



最初にお読みください

CentreCOM® AR570Sリリースノート

この度は、CentreCOM AR570Sをお買いあげいただき誠にありがとうございました。このリリースノートは、取扱説明書（613-000451 Rev.B）とコマンドリファレンス（613-000273 Rev.A）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初によくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.7.5.B-06

2 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.7.5.B-05 から 2.7.5.B-06 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。


IPsec


- 2.1 処理負荷が高い場合に IPsec SA の Rekey（鍵の再生成）が発生するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 2.2 Main、Aggressive、Quick などのメッセージ交換モードにおいて、処理負荷が高い場合、パケット処理の矛盾のためリポートすることがありましたが、これを修正しました。

3 本バージョンでの制限事項・注意事項

ファームウェアバージョン 2.7.5.B-06 には、以下の制限事項や注意事項があります。

3.1 QoS

 [「コマンドリファレンス」 / 「QoS」](#)

 [「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」 / 「フィルタールール」](#)

QoS およびルール NAT（ADD FIREWALL POLICY RULE コマンド）の併用時、ルール NAT の対象パケットに対して、QoS のトラフィッククラスが正しく適用されないことがあります。

3.2 PPP インターフェース

 [「コマンドリファレンス」 / 「PPP」 / 「PPP インターフェース」](#)

SHOW PPP IDLETIMER コマンドの実行時、インターフェース名が表示されません。SHOW PPP=0 IDLETIMER のようにインターフェース番号を指定して実行してください。

3.3 IPv6 インターフェース

 [「コマンドリファレンス」 / 「IPv6」 / 「IPv6 インターフェース」](#)

DELETE IPV6 INTERFACE コマンドで IPv6 インターフェースを一度削除すると、その後 ADD IPV6 INTERFACE コマンドの入力で再び同じインターフェースを追加できません。この場合は、EDIT コマンドで設定を行ってください。

